国際交流通信
多文化カフェ

日本の伝統文化を知ってもらおうと季節に合った催しを実施しています

わたしたちフレンドシップ部会は、昭和六十二年六月の国際交流協会発足と同時に設立され、歴史ある部会として責任感を持って活動しています。

活動内容としては、季節ごとに交流会を企画し開催するとともに、地域の外国籍の方や会員相互のさまざまな交流に関する事業を行っています。例えば、節分交流会やお月見交流会を開催するなど、日本の伝統文化を知ってもらおうと季節に合った催しを実施しています。

こうした交流を通して、異文化間の相互理解と共生を図っています。しかし一方で、日本に働き手として来ている南米の方などの多くは、参加費を支払ってまで交流会に参加する人が少ないという実態があります。今後は交流だけでなく、日本語の習得や教育、医療制度の認識など、日本で生活するために必要なことについても取り入れて、交流の輪を広げていきたいと考えています。

今後も、さまざまな意見を取り入れながら魅力ある活動や新たな取り組みなどを行っていきたいと思います。

部会名：フレンドシップ部会
代表者：鈴木良一
ＴＥＬ：83－1571（国際交流協会）

町内会活動紹介
町内会の底力

連携と支え合いで地域の一体感を深めています

長沢町内会は、約八百世帯で構成されています。十数年前、自然豊かな山間に大きな団地ができ、それとともに人口が急激に増えて地域環境は大きく変わりました。

こうした中で、長沢町内会は地域の諸団体とそれぞれの特徴を生かして相互に連携し、支え合うことで地域の一体感を深めています。

地域の防犯には、元気な高齢者と一緒に防犯パトロール隊を結成し、防犯パトロール車で子どもの安全や犯罪抑止に努めています。地域の福祉についても、サロン活動グループ、民生委員、老人会などと共に高齢者支援に取り組んでいます。

また、地域に突出した伝統芸能行事はありませんが、多彩な催しで盛り上げています。歩け歩け大会や市民館まつりなどの行事は、地域住民の交流・親睦の場として大きな役割を持っています。市民館まつりでは、三十五以上の団体から約三百人が参加しています。小学校と協力して行っているあいさつ運動も、地域の関係づくりの源になっています。

これからも連携の輪を広げ、住みよい地域づくりを目指していきます。

団体名：長沢町内会
代表者：渡辺晴美

School Report わたしたちの学校自慢

スクールリポート!

花だんの花や緑が心を豊かにしてくれます

一宮西部小学校
スクールリポーター
６年２組
近田瑛佑さん

本宮山や砥鹿神社。そんな緑豊かな地域に一宮西部小学校はあります。

ぼくたちの学校の花だんには、いつもたくさんの花が咲いています。その手入れは、主に園芸委員会が行っています。

園芸委員会には、学校をきれいにするほかに、みんなの心を豊かにするという目的があります。普段は、主に花だんの水やりや草抜きを行っていますが、季節ごとの花の植え替えや、もっと園芸の良さを知ってもらうために植物の名前当てクイズを行っています。普段の学校生活では花や緑のたいせつさにあまり気が付かないけれど、花や緑があるかないかではだいぶ違うと思います。

これからもみんなに植物のことに関心を持ってもらい、花や緑が身近にある、きれいな一宮西部小学校であってほしいと思います。

わんぱくショット WANPAKU SHOT

稜峨（りょうが）くん
平成20年12月19日生まれ
伊藤徳彦・郁与さんの次男

自分の思っていることなど、いろいろな言葉で伝えてきてくれるようになりました。電車とブロックが大好きです。

祐翔（ひろと）くん
平成22年２月11日生まれ
小林英樹・佳代さんの長男

電車が大好きなひろくん。毎日わんぱくに動き回っています。もう少し大きくなったら、電車に乗ってお出掛けしようね。

青春 Smile Talk スマイルトーク

石黒真理さん（19歳）

わたしは幼いころから、体を動かすことが大好きです。中学校と高校ではソフトボールをしていましたが、現在は軟式野球をやっています。スポーツで汗を流すと、疲れも吹き飛び、気分も爽快になります。

趣味は温泉巡りと岩盤浴です。特にスポーツをした後の温泉は、とても気持ちが良いです。今後もいろいろなスポーツに取り組んでいきたいです。